

日本語学習を手助け

外国人児童・生徒対象に教室

県国際交流協
会

日本語教師から漢字などを学ぶ外
国人小中学生 県国際交流協会



徳島県内で学ぶ外国人
小中学生の日本語学習を
サポートしようと、徳島
市内のクレメントプラザ
内の県国際交流協会(ト
ピア)で二十三日、日本
語教室が開かれた。
中国や米国、フィリピ
ンから来日した小中学生

八人が参加。自己紹介を
した後、日本語教師らと
マンツーマンで社会科の
問題集や漢字ドリルを解
いた。
児童・生徒の大半は日
本語での会話にほとんど
支障はなかったが、難し

い漢字が出てくると首を
ひねり、「『鳴る』って
どついう意味なの」「こ
の漢字はどう読むの」と
熱心に質問し、正しい書
き順などを学んだ。

米フィラデルフィア出
身のロバート・フロスト
さん(五) 阿波市吉野町
は小学三年用の漢字ド
リルを仕上げながら、
「漢字が分からないの
で、中学の授業について
いくのは大変。今日はゆ
っくり勉強できてよく分
かった」と話していた。
教室は八月三日まで計
五日間開かれる。